

算数オンライン塾 4月26日の問題 —図形の移動—

1 辺の長さが 4cm の正方形 A と 1 辺の長さが 2cm の正方形 B があります。この 2 つの正方形が 22cm 離れた 2 つの壁の間を、90 秒間、往復を繰り返します。

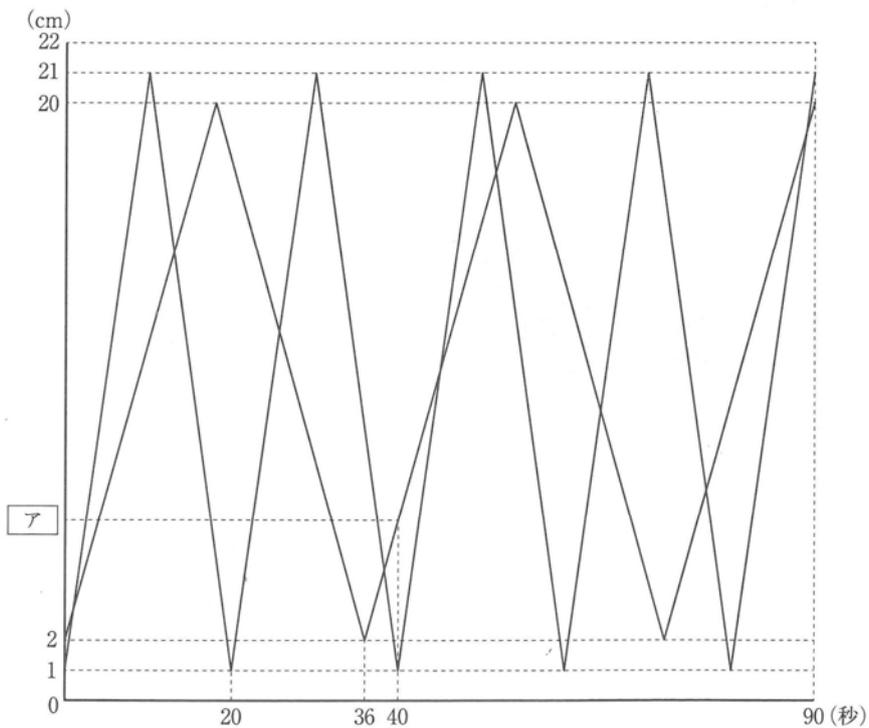
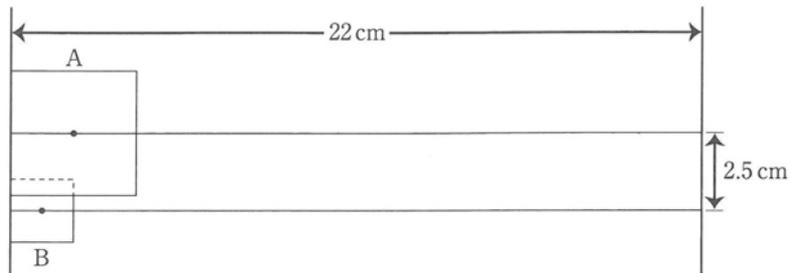
A と B は、下の図のような状態から出発し、それぞれの正方形の対称の中心が 2.5cm 離れた直線の上にあるように動きます。下のグラフは、動きだしてからの時間と、出発した側の壁から正方形の対称の中心までの距離の関係を表したものです。

(1) 2 つの正方形の速さをそれぞれ答えなさい。また、グラフの (ア) にあてはまる数を答えなさい。

(2) 動きだしてから何秒後に、2 つの正方形の重なった部分がはじめてなくなりますか。

(3) 2 つの正方形が重なっている時間の合計は何秒間ですか。

(式と考え方)



算数オンライン塾 4月26日の問題 —図形の移動—

(1)	Aの秒速		Bの秒速		ア	
(2)			(3)			